

Library

町生涯学習センター図書室からの6月のおすすめ図書

Library Information

図書室からのお知らせ

■ 寄贈図書のご紹介

甲佐町出身で、元横浜DeNAベイスターズ投手の高崎健太郎さんより、スポーツ関連の新刊図書27冊をご寄贈いただきました。野球・サッカー・バスケットボールなどの競技に関するものや、ストレッチや体作り、メンタル面のトレーニングに関するものなどで、一般書と小中学生向けの児童書がそろっています。ぜひ、ご利用ください。

● 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)

時代をまたいで疾走するエンターテインメント小説 伊坂 幸太郎著 / 『シーソーモンスター』



中央公論社
小説

バブルに浮かれる昭和の日本。一見どこにでもある平凡な家庭に、ある日、大きな疑念をもたらす家族の過去…。2050年、1人の手紙配達人を巻き込んだ世界平和の危機とは…。時代の違う2編からなる物語ですが、共通の人物によって繋がりがあり、スピード感のあるストーリー展開に引き込まれてしまう1冊です。

川を舞台に、水の循環・命のつながりを考える絵本 真珠 まりこ作・絵 / 『もったいないばあさんかわをゆく』



講談社
児童書

川へゴミをばいっとしようとする男の子。そこへもったいないばあさんが「もったいない」とあらわれました。どうして川へのゴミ捨てがもったいないのか、川の上流へ見に行きます。上流で出会った川のあかちゃんといっしょに下流へと旅をしていくと、見えてきたのは…。川を舞台に、水の循環・命のつながりを考える絵本です

わたしたち日本人は、いま、どう生きるべきなのか 青山 繁晴著 / 『不安ノ解体』



飛鳥新社
一般書

日本を鉄鎖から遂に解き放ち、新しい御代はあなたと生きる。民間の専門家から突如、国会議員となった著者が、国会の内部で見た日本の実態とは。苦闘千里が深まる道程をリアルタイムでつづる。わたしたち日本人は、いま、どう生きるべきなのか。わが国を覆う「不安」を「解体」し、未来に希望を与える話題の1冊です。

ささっと作れて、気の利いた、おいしい123品 真藤 舞衣子著 / 『箸休め』



学研プラス
教養娯楽

食事の途中で「ちょっと違った味を楽しみたい」そんなときにいただく「箸休め」。小さなおかずやおつまみ、漬け物など、簡単に作れて気の利いた、おいしい123品。和風、洋風、中華風、エスニック風に分けて、それぞれのレシピを紹介しています。いつものメニューにささっと1皿足せる、とても役立つおすすめの本1冊です。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■ 開館時間 午前9時～午後5時 ■ 休館日 毎週火曜日、年末年始 ■ 貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

わたしが「ルルとララのミルキープリン」を読んだきっかけは、学校にも、ルルとララシリーズがあって、べつのおかしをつくっているルルとララシリーズを読んでみたいと思ったからです。

この本は、ルルとララが自分の白い毛皮がきらいなねこ「スノーウィ」のおたん生日にミルキープリンをつくります。でも、ミルキープリンは白だから、色やかざりのくふうをするというお話です。

今月の案内人



岸元 七海さん
〔下横田区〕

わたしがこの本を読

～ My Favorite Story ～ 私のおすすめ図書

『ルルとララのミルキープリン』(あびるやすこ作)

ママねから、むすめのスノーウィにお菓子を作ってほしいと頼まれたルルとララが、「まっ白」だけどすてきなケーキをつくるうとチャレンジします。

んで心にのこったことは二つあります。

一つ目は、白くならないように、フルーツを入れて色をつけたところ。きれいな色になって、おいしそうでした。

二つ目は、白いミルキープリンに、食べることができるお花は、さいているお花とにていてとてもすてきでした。

わたしはこの本を読んで、本当に、ルルとララが作ったミル

キープリンを食べてみたいと思いました

● あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか？

町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

▶ 町民大学開講のお知らせ 講演会を開催します

●開催日時

6月30日(日)
午前10時～正午

●会場

町生涯学習センター・ホール

●演題

皇国地誌(郡村誌)の紹介
～明治の暮らしをふりかえる～

●講師

元甲佐町史編集委員長
佐藤 征子 さん(仁田子区)

※新甲佐町史歴史研修会も兼ねて
開催します。多くの皆さんのご
参加をお待ちしています。

- 公民館講座や町民大学などに関する
お申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)

町公民館出前講座 フラダンスを披露

4月7日(日) 町公民館
出前講座が「第51回にたご
橋まつり」に参加しました。
同まつりは、益城橋上流右
岸の堤防で開催され、地域
住民など120人が参加。
同講座として参加したフ



▲ダンスを披露するフラダンス
教室の皆さん

ラダンス教室(ポハイケア
ロハ・フラミナミア)の皆
さんは、きらびやかな衣装
を身にまとい日ごろの練

習の成果を披露しました。
ダンスの後には来場者から
たくさん拍手と歓声が上
がり、会場は大いに盛り上
がりました。

参加者は満開の桜の花び
らが舞う中、和やかにお弁
当を食べたりカラオケ大会
で自慢の美声を披露したり
して、おだやかな春の1日
を楽しみました。

町公民館自主講座

自主講座発表会を開催

4月20日(土) 町生涯学
習センターで、公民館自主
講座発表会を開催しました。
ギャラリーモールでは、

水彩画、書道、水墨画、
パッチワーク、手編み教室、
生け花の作品を展示。受講
者自慢の作品が並びました。
またステージでは、大正

琴、フラダンス、社交ダン
ス、朗読教室、ひまわりダ
ンス、3B体操、オカリナ、
レクリエーションダンス、



▲オカリナの演奏を披露する自
主講座の受講者の皆さん

相撲甚句、町民コーラスの
各団体が練習成果を披露。
カラフルな衣装や華麗なダ
ンス、美しい音色に会場は
包まれました。

最後に町民コーラスの井
芹ミツエさん(岩下二区)
の指揮で「みかんの花咲く
丘」と「四季の抒情」を全
員で歌いました。

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

■人権問題は、毎日の生活の中 にあるものです

「人権」というと、つい難しいもの
だと思っていませんか。次のよ
うな場面が、あなたのまわりで起
こっているかもしれません。

●バスの中でスマートフォンに夢中
だったせいで、妊婦さんが乗ってき
たのに全然気づかなかった。妊婦さ
んが立ったままで、どうして誰も気
づかないんだろうと思ったら、周り
の人もみんなスマートフォンを見て
いたり、本を読んだりしていた。

⇒ときどきは周りを見てみません
か? 気づかなかったことに気づく
ことができるかもしれません。

●路上に止められた自転車、点字
ブロックをふさいでいる。
⇒視覚障がい者の中には、白杖を
使って移動されている方も多くい
らっしゃいます。点字ブロックをた
どって移動されているところに自転
車が止められていると、視覚障がい
のある方が衝突する可能性があり、
本当に危険です。

●近所で空き巣事件があった。被害

に遭った人のうわさ話が、毎日聞こ
えてくる。

⇒犯罪の被害者やその家族は、直接
的な被害だけでなく、近隣住民等周
囲の人々の言動や報道機関による取
材・報道等で二次被害を受けること
もあります。

～熊本県人権情報誌

「コッコ通信 vol.36」より～